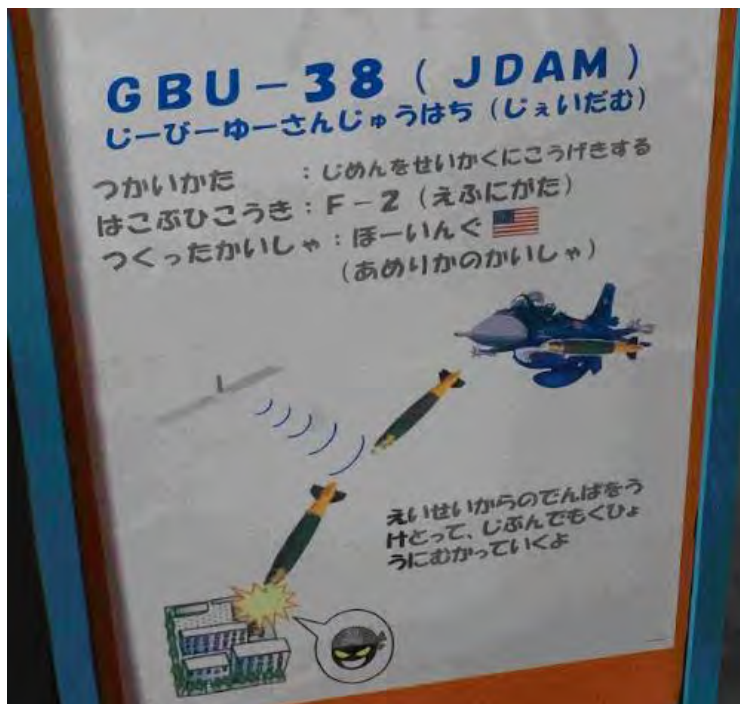


辺野古土砂北九州

発行…2024年12月号・No.57



今年の築城基地の航空祭に参加した知人から、こんな説明パネルの写真をもらいました。すべてひらがなで書かれているので、我が家の六歳の孫でも読むことが出来ます。別の言い方をすれば、漢字も読めない幼い子どもも、「兵器や戦争を身近なものにしようとする、防衛省の意図を感じます。JDAM(ジエイタム)とは、誘導装置を自動落下爆弾に取り付けることで、精密誘導爆弾に変身させることができる代物です。説明には、「地面を正確に攻撃する」とありますが、この爆弾の行きつく先に人の命があるのです。特に幼い子どもには、命の尊厳を繰り返し教えるべきで、こんな展示はもつてのほかです。(Y)

《目次》

【自衛隊】私たちの日常に入り込む自衛隊(八記久美子)……………	2	ページ
【築城基地】築城基地で進む米軍基地化(徳永克子)……………	4	ページ
【辺野古】変わるゲート前・傍若無人な海保の振る舞い(宗吉信)……………	8	ページ
【連続エッセイ】安和浜のシャコガイ詩集(浦島悦子)……………	11	ページ

写真…徳永克子・竹内俊一・宗吉信・八記久美子



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

市民センター・スーパー・テレビ番組のプレゼントにも 国民・市民の日常に入り込む自衛隊

名簿提出の目的は、住民情報を提供させる「仕組み」づくり

世話人 八記久美子

先月号で、北九州市小倉南区の「まつりみなみ」が、自衛隊小倉駐屯地で行われ、さまざまな問題を残したことをお伝えしましたが、自衛隊が市民生活に入り込んでいる実態は、全国で広がっています。

また、私たちの周りでも、いろいろな所で自衛隊や自衛隊員募集のポスターを見かけるようになりました。その実態の一部をご紹介します。

《TV番組で芦屋基地のマスクプレゼント》

見るともなく、テレビの地元の情報番組をつけていたら、「視聴者に『芦屋基地の迷彩マスク』プレゼント」の声が。慌てて近づいて見ると、こんな映像が…。



芦屋基地がある福岡県芦屋町は、北九州市の隣の自治体です。市のHPを見ると、「芦屋町ブランド認定品」として、1枚：660円で、航空自衛隊芦屋基地の作業服と同一の生地を使用しているマスクが、紹介されていました。



防衛省は今年5月、国内最大級の実弾射撃演習「富士総合火力演習」に、中学生、高校生、大学生などの自衛隊員募集対象者や、保護者・学校関係者ら約3000人を招待しました。

《市民センター》 《スーパー》



もうだいぶ前からですが、当会が利用する市の施設には、自衛隊員募集のポスターが貼っています。我が家の周りのスーパーでも、自衛隊員募集のポスターをよく見ます。確認のため、通りかかったスーパー9軒を見て回りましたが、どこでも貼っているわけではないようでした。



いずれも築城基地の航空祭の写真

《築城の航空祭》

築城航空祭をつぶさに見てみると、子どもをターゲットにした「軍事ショー」ですね。間違いなく。パトリオットミサイルの運用車の運転席に運転員専用のヘルメットを被せ、防弾ベストを着せ、F2 戦闘機のコックピットに入らせて座らせたりしています。戦闘機のデモフライトの際には場内の女性アナウンスが度々「その君。一緒に日本の空を守ってみませんか」と呼びかけたそうです(朝日新聞の報道)。by 竹内俊一

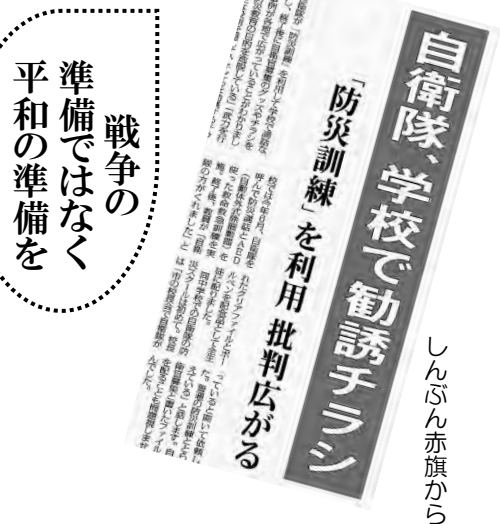
《自衛隊への名簿提出》

北九州市では、18歳の男子の名簿をラベル印刷して自衛隊に提供しています。今年も6月20日に、4,062名(除外申請の提出を受け、除外を決定した29名を除く)分のラベルが提供されました。

10月に行われた日本平和委員会の「自衛隊名簿提出問題」の学習会で、講師の方は、『「自衛官募集」の郵便物の効果は1%程度(自衛隊の資料による)。真の目的は、自治体に住民情報を提供させる「仕組み」づくりや、自治体の理解形成をすすめることにある』と言われていました。



校長は保護者に謝罪



戦争の準備ではなく
平和の準備を

しんぶん赤旗から

みんな
米軍ファミリーに
なるのね

米軍岩国基地の代替基地 築城基地の代替基地 北九州空港

築城基地で進む米軍基地化

前防衛相は「時には米軍さえもここ(北九州空港)で訓練することがある」と

築城基地の米軍基地化を許さない！京築住民会議・行橋市会議員 徳永克子

北九州空港が「特定利用空港・港湾」に指定された理由の一つに、「築城基地があるから」が挙げられています。築城基地から北九州市役所まで、直線で約 27 キロ。北九州空港まで約 16 キロの距離です。戦争の準備が進む今、これまで「近所の自治体にある基地」だった築城基地が、非常に身近な存在になりつつあります。(編集部)

■初めに

私は、築城基地から約 3.6 キロの所、山の下に住んでいますが、毎日戦闘機が我が家の上を爆音をたてて飛行しています。否応なしに、常に基地問題は私の「運動課題」となっています。その経験も含め、築城基地について報告いたします。



徳永克子さん

■築城基地とは

行橋市・築上町・みやこ町にまたがって築城基地がありますが、行橋市と築上町には滑走路など戦闘機類と庁舎など、みやこ町にはパトリオットがあります。

1942 年、第 2 次大戦終了 3 年前に大日本帝国海軍航空隊築城飛行場として作られ、戦後 1945 年米軍に撤収され、朝鮮戦争時にはここからも米軍が飛び立っていきました。その当時、地域には米兵相手のいかがわしい場所ができ、地域の女性達は「怖いめにあった」と聞いています。その経験から「米軍だけは絶対ダメ」との声が、高齢の方々からは聞かされました。

その後 1954 年、航空自衛隊築城基地となり、現在は第 8 航空団：第 6 飛行隊と第 8 飛行隊、西部高射群第 7 高射隊があります。

また、米軍岩国基地の第 1 番目の代替基地となっており、岩国飛行場が何らかの理由で使用できない場合の代替基地としての役割とされています。そのため、これまで何度も岩国所属の米軍機が築城基地に着陸しています。

■「沖縄の負担軽減」の口実で、訓練移転がはじまる

沖縄では、「米軍関係者による少女暴行事件」に怒りの声が大きくあがったことを背景に、2006 年、日米両政府による「日米ロードマップ」が締結されました。

結果、沖縄の「負担軽減」のため、本土の 6 航空基地において「訓練移転」が行われることになったのです。その第 1 番目の訓練移転は、築城基地でした。2008 年 3 月 5 日～3 月 8 日、嘉手納基地の F-15 が 5 機築城基地にやって来ました。

私達は、着陸する米軍機に向かってこぶしを挙げ「訓練移転反対！米軍機は来るな！」と声を大きく上げました。その集会に参加してくれていた赤嶺政賢衆議院議員が、『「今、築城基地に嘉手納の戦闘機が着いた。(政府の言う通り)そちらは静かになっただろう。」と言うと「馬鹿言うんじゃない。早朝からアメリカ本土からのが多く来て、さらにうるさくなっている」と言われた』と、沖縄との電話のやりとりを報告してくれました。「負担軽減のため」などは、真っ赤なウソなのです。

それ以降、築城基地では本年 10 月からの実施のものまで、計 11 回の訓練移転が実施されています。

■築城基地に米軍用施設の建設

2018 年、新田原基地と築城基地を「緊急時使用のため」米軍用施設を整備するとの発表がありました。2006 年のロードマップに基づいたものとしています。

《米軍用施設》12 機程度の戦闘機・1 機程度の輸送機・200 人程度の軍人を受け入れられる施設の整備は以下の通りです。

◎2 棟になった庁舎…1 棟は自衛隊と共有：地上 3 階地下 1 階 6300 m² そのうち米軍用は 200 m²(地下に指揮所機能)もう 1 棟は米軍専用 地上 2 階 5900 m²

◎弾薬庫…自衛隊の弾薬庫の隣に 600 m²。通常管理するのは自衛隊。弾薬の種類を九州防衛局に聞いたが「答えません」

◎燃料タンク ◎駐機場 ◎宿舎 ◎倉庫 ◎作業スペース



米軍の弾薬庫

■自衛隊基地の「強じん化」

岸田政権による「安保 3 文書」により、莫大な軍事費拡大と敵基地攻撃能力保有などが急激に進んでいます。その一環として、全国の自衛隊施設の地下化・強じん化が実施されています。

築城基地では、この事が提唱される前から建物の地下化・強じん化、電子パルス攻撃対応が実施されてきています。核兵器で攻撃されても「施設」が残るための施策です。しかし、私たち周辺住民は守られません。

電子パルス(EMP)とは…電子機器を損傷・破壊する、強力なパルス(衝撃電流)状の電磁波。大規模な太陽フレアにより発生するほか、電磁パルス爆弾や、上空 30km~400km の高高度での核爆発による発生が現実的な脅威となっている。

■滑走路の延長・強化

米軍用施設整備の発表とほぼ同時期に、滑走路を 300m 延長し、普天間基地と同じ 2700m にするとの発表がありました。単に延長するだけでなく、厚くし強化するという事です。九州防衛局による住民説明では、すべての米軍機が使用できるよう C-5 を想定しているとの事です。

自衛隊の大きな輸送機 C-2 と比較すると、その大きさ・重量・最大離陸重量などが格段の違いがあることが分かります。※表参照

	自衛隊輸送機 C-2	米輸送機 C-5B
全幅	44.9m	67.89m
全長	43.9m	75.3m
空虚重量	60.8t	170.0t
最大離陸重量	141.0t	381.0t
最大搭載量	32t 36t	122.472t

現存する滑走路の強化の工事は終わっています。今年から、海に向かっての延長のための工事に取り掛かり、7年程度で完成の予定だそうです。九州防衛局に行った時、私が厚さはどれ位かと尋ねると、「防衛上、答弁を差し控える」とのことです。

滑走路の延長が完成すると、どれだけの輸送機や戦闘機が、アメリカだけでなくイギリスやオーストラリアなどがこの築城基地を使用するのか、また南西諸島への武器類の輸送や核搭載可能・長射程ミサイルを搭載する戦闘機も使用するのか、どれほどの爆音がまき散らされるか、考えるとゾッとします。



海に突き出た右の白線の部分が、滑走路延長部分

■年々激しくなる飛行演習＝米軍基地化へと進む築城基地

《ノーザン・エッジ23》

これまで「訓練移転」として 11 回米軍が築城基地に来ましたが、それ以外にも米軍がやって来ています。それは、「ノーザン・エッジ 23」の一環としての演習：2023 年 7 月 7 日～14 日実施されました。

米軍用施設が完成してはじめて米軍が築城基地にやって来たのは、米軍が太平洋地域で行う大規模演習「ノーザン・エッジ 23」の一環として、日米共同演習を行うためです。「ノーザン・エッジとは、インド太平洋の危機に対応する合同部隊の準備を整えるための一連の米インド太平洋軍（USINDOPACOM）の演習の一環である。」と、ネットに出ています。

米軍機が全国各地に機動展開し、日本全土が戦場になる事を想定したものです。これまでは、「負担軽減のために訓練移転を実施する」「緊急時使用のため、米軍施設を整備する」と言ってきました。私は九州防衛局に「今回米軍が来たのは、なぜか」と質問すると、「日米地位協定第 2 条 4 項 b による」と答えました。要するに「アメリカは日本のすべての土地・建物等を使用できる」ことによるのです(※資料参照)。日本は、真に

独立していない！アメリカに従属している状態を変えなければならない！強く思います。

※日米地位協定 第 2 条4(b)…合衆国軍隊が一定の期間を限って使用すべき施設及び区域に関しては、合同委員会は、当該施設及び区域に関する協定中に、適用があるこの協定の規定の範囲を明記しなければならない

《キーン・ソード 25》

今年7月、日米両政府による共同発表文書で、在日米軍司令部について、ハワイのインド太平洋軍司令官の下「統合軍司令部」として再構成することが明記されました。自衛隊は、実質的に米軍による指揮下に組み込まれることが明記されたのです。

その直後の日米共同統合演習キーン・ソード 25(10月23日～11月1日)が、南西諸島・九州をはじめ全国で、これまでの最大規模で実施されました。防衛省から行橋市への説明では、10月21日から11月1日まで「日米共同訓練 訓練移転」を実施するとの説明でした。しかし実態は、キーン・ソード 25 だったのです。

在日米軍の役割が統合軍司令部として自衛隊を指揮下にするとした日米共同統合演習は、さらに「戦争そのもの」に近いものであったのではないかと、私は思っています。そして、築城基地の米軍基地化が更に進んだのではないのでしょうか。

この演習で、はじめて民間空港・北九州空港が軍事使用されました。築城基地が使用不能となったと想定してのものです。

日本全体、特に南西諸島と九州の「台湾有事」「中国・北朝鮮からの攻撃」を想定した演習は、アメリカを守るため日本の場でくい止めるものと、私は考えています。平和主義を規定した憲法に違反するものです。



10月23日、「キーン・ソード 25」での築城基地の写真。F2(後ろの黒く見える機体)以外は、米軍機のF16。

■終わりに

今、ガザの子達が戦争で苦しんでいる状態が報道されています。「戦争への道を進ませよう」としている自公政権。平和のために皆で力を合わせていきましょう。

(とくながかつこ)

多くの人に辺野古の現場を見てほしい 変わるゲート前・傍若無人な海保の振る舞い

世話人 宗吉 信

■様子が変わった辺野古のゲート前

11月の中旬、久しぶりで辺野古に行って来た。6月末に安和栈橋で警備員がダンプに巻き込まれて死亡し、抗議行動をしていた人が重傷を負うという痛ましい事故の後、安和栈橋も塩川港も、辺野古や大浦湾を埋め立てるための、土砂や石材の積み出しがストップしていた。そのまま工事が中止されることを願ったが、8月下旬から安和栈橋での工事は再開された。だが塩川港は現在も工事は止まったままだ。

これまで数回の訪問では、ほとんど安和・塩川での抗議行動だったが、今回は天候により安和のダンプ搬入がなく、抗議行動もなかったため、辺野古のキャンプシュワブゲート前での座り込みが中心になった。以前とはだいぶ様子が変わっていたので、改めて報告したい。

■フォロー体制があるから、体力がなくても参加できますよ



新しいゲートでの座り込み。警備のテイケイが不気味

埋め立て工事の土砂や機材の搬入は、これまでのゲートではなく、そこから名護方向に、歩いたら20分ほどの所に新しく作ったゲートからだった。毎日9時、12時、15時の3回の搬入はこれまで通りだが、その30分前にテント小屋に行ったら、車で新しいゲートまで送ってくれる。これまでは搬入の時間になるとダンプ等の長い車列ができて、一般車両もその後ろで待たされていたが、今度は山を削って道路を拡張し、搬入車専用の引き込み

車線ができていた。だから、搬入の時刻になってもほとんど車列はない。しかし、機動隊がゲートから出て来て、座り込みをしている我々に向かい、立ち退くようスピーカーで勧告する。

コロナ流行以降、感染防止で機動隊員との接触を避けるため、機動隊による排除が始まったら、ほとんどの人が自主的に立ち上がって退いていたが、昨年末の国による代執行以来、原則として自主的立ち退きをやめているという。そこで、機動隊員が「自分から立ち上がってください」と声をかけてきても無視していると、「立ち上がらないなら強制的に動いてもらいます」と、大体3人がかりで抱え上げてゲート脇の歩道まで運ば

れる。場合によっては抱えて運ばれるのも結構痛いので、自主的に立ち上がる人もいる。

全員立ち退かされたらダンプ等による搬入が始まるが、引き込み車線があるので、30分以上次から次へと名護方面からダンプが来てゲートに入って行く。大体一日に400台ほどのダンプ等が入るそうだ。機動隊員がゲートに近づかせないようにブロックしている後ろから、次々に入って行くダンプに対し、プラカードを上げて抗議のシュプレヒコールを上げながら見ているしかない。座り込み開始から1時間ほどの抗議行動だが、座り込み用に折り畳みの椅子は用意されているし、体力的にはそう負担はない。僕が行った3日間は、毎回20~30人の座り込み。辺野古の抗議行動に誘うと、体力に自信がないという声をよく聞くが、あまり心配ないと思う。帰りも迎えの車が来て、ゲート前テントまで送ってくれる。



座り込みを排除されて、基地に入るダンプに歩道から抗議。

■海上でもせめぎ合いが

また、今回は初めて海上からの抗議行動を見学することができた。辺野古漁港を小さな漁船のような船で朝8時に出航し、カヌーを引いて大浦湾へ向かう。しばらくすると海上保安庁の大きなGB(ゴムボート)が何艇も伴走して来る。大浦湾に入る少し手前、辺野古崎沖を通る時、前日に始まったばかりの新たな埋め立て工事で、ダンプが土砂を落とす様子が見えた。大浦湾入り口では途端に波が荒くなって船も大きく揺れる。抗議活動の船が入れないように、広く張ってあるフロートフェンスの向こうに、一番深い軟弱地盤のあるB27地点が見えた。防衛局もボーリング調査をしているらしく、高い塔が2本立っていた。

もう少し湾の中に入って行くと何隻もの船の集団があった。数隻が工事業者のダイビング船で、ダイバーたちが海に潜り、珊瑚を移植するために海底の岩から削り取っ



海上からの抗議。珊瑚を削り取るダイバーの海域に行くカヌー

ているという。埋め立てにより貴重な珊瑚を殺してしまうという抗議に対し、「安全な場所に移動させる」という防衛局だが、全くのアリバイ工作でしかない。現にすでに埋め立てられた辺野古側の珊瑚は、移植先でほとんどが死んでしまっているという。大浦湾にはもっと貴重な珊瑚の群落があるが、岩から削り取って別の場所で有毒な接着剤を使って貼り付けるために、やはり多くが死んでしまうだろうとのこと。海を愛するダイバーたちはそんなことをわかっているのに、抗議のカヌーが近づくと作業をやめて船に上がって来る。だから海上保安庁のGBがカヌーや抗議船が近づかないように妨害して来る。

■危険な海上保安庁の行動

話には聞いていたが、海の上で一般の人の目がないから、海上保安庁もひどいことをしている。抗議船はその海域では止まってスクリューは回らないようにしているのに、ダイバーに対して危険だからとGBから抗議船に乗り込んできて舵を奪取り、大きなGB二艇で両側を挟んで海域から追い出してしまふ。また、しばらくしてその海域に近づこうとすると、抗議船とぶつかりそうになるくらいすれすれのところを通って妨害して来る。エンジンが2機付いて馬力があり、自由自在に操れるGBが大波を立てて何艇も周囲を荒らしまわると、こちらの船は沈没させられそうだった。

これも初めて、辺野古集落入口にある民宿クッションに宿泊した。沖縄平和運動の情報共有サイトでもあるので、様々な人との交流が楽しかった。そのことも是非報告したいが、紙面の都合で今回は無理なので、できれば続編で報告させてもらいたいと思っている。(むねよしまこと)



海上保安庁のGBに拘束される抗議船



GBに両脇を挟まれ、舵も奪われて、遠くまで誘導される抗議船

「奄美の土砂を辺野古に出さないで」の署名を同封しています。みなさんのご協力をお願いします。

※署名用紙がたくさんいる方は、ご連絡ください。署名用紙をお届けします。

浦島悦子の連続エッセイ 《南の島から》 No.57

安和浜のシャコガイ詩集

ハリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



《詩としてのアシャギ「シャコガイ詩集」》と名付けられた屋外展示（今帰仁村中央公民館にて11月9～11日）は、まさにアシャギ空間そのものだった。アシャギとは、琉球諸島で古来からムラの中心となってきた祈りや儀礼の場、天地や海の神々とムラ人の交歓の場である。

展示を行ったのは、私設資料室「貝と言葉のミュージアム」（以前は大浦湾沿いに開設。現在は那覇市）を営む貝類研究者・名和純さん。研究者として優れているのはもちろん、詩人・哲学者・思想家、否それらをはるかに超え、貝を通して自然界からの言づてを私たちに伝えてくれるカミンチュ（神人）のような人だ。

朝の澄んだ空気の中、放射状に並べられていたのは、すべてシャコガイ（ヒメジャコ、ヒレジャコ、シラナミ、トガリシラナミ、シャゴウ）。今まさに辺野古埋立の土砂が搬出されている本部半島の浜＝安和浜や瀬底島の浜にゆりあげられたものだ。名和さんによると、安和浜は本部礁池（サンゴ礁の内海）の貝がゆりあがる豊かな渚で、50年前に埋め立てられたが、50年かけて再生したという。

現在の土砂採掘や搬出も含め、人間の営みに翻弄されながらも「静謐に『白く笑う』貝を要に」琉歌律（8886）の定型

詩36篇が編まれ、放射状の先端に並べられていた。

どれも、貝たちの声なき声を伝え胸に染みるものだが、安和浜のシャコガイにちなんだ詩を2～3紹介したい。

安和浜の手織る 白無垢の翼

希望のせてゆく ゆくゆくゆけ

いにしえの光 いま闇をひらく

シラナミの灯り きみに灯る

はるかな時経て 空へと翔びたつ

あの音の中に 溶けてゆこう

最近、嬉しいニュースがあった。名和さんの小説「ユナ」が第50回新沖縄文学賞の正賞に選ばれたのだ。かつて豊かな自然と人々の営みがあり、名和さんが幼い頃から親しんだ沖縄島南部の与那原浜が埋め立てによって失われてしまった痛みを書いたという。

多種多様の貝や生き物たちであふれていた与那原浜がヘドロと化したように、今、沖縄島最後の聖地と言われる瀬嵩浜も辺野古埋立によって危機に瀕している。渚の言づてを伝え続ける名和さんの作品を来年2月発行の『新沖縄文学』で是非読んで欲しい。（うらしまえつこ）

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 12月04日(水)…《会報発送作業》13時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 12月04日(水)…《世話人会》上記の会報発送作業が終わり次第、同会場にて
- 12月21日(土)…《小倉駅前街頭宣伝》14時30分～ ※時間にご注意を
- 1月08日(水)…《会報発送作業》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 1月29日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室

「辺野古土砂ストップ北九州」への入会は

年会費(個人 1000 円・団体 3000 円)です。090-4482-0043 大野保徳までお電話いただければ、会報をお送りします。

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911
加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」

【財政・入会・退会に関するお問い合わせは】
090-4482-0043 大野保徳(財政担当)まで。



編・集・後・記

11月の小倉駅前宣伝で、イタリア人の若い男性から英語で声をかけられましたが、私はさっぱり理解できません。男性はスマホに自分の声を吹き込み日本語に翻訳。スマホの画面には「クソ アメリカ」と書いてあったので、笑ってしまいました。(藤堂)

《辺野古土砂ストップ北九州》

メールアドレス…kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

2024年12月4日発行